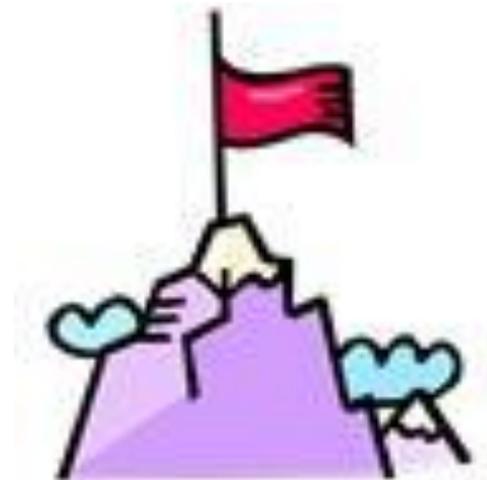


---

## ①-1. 収支(BEP分析)

## どちらがいいですか？

- 目標売上が明確でない商売は、山頂の見えない山登りと同じ
- 目標賃金を支払うために必要な「売上高」を計算されていますか？



# 1. BEP分析

- 損益分岐点売上高 = 生産活動収支が“0”になる売上高

売上		原価	
500,000		200,000	
		個	単
		2,500	80
		経費	
		200,000	
個数	単価	利益 100,000	
2,500	200		



売上		原価	
?		?	
		個?	単80
個?	単200	経費	
		200,000	
		利益 0	

# 【例題】損益分岐点売上高を計算する

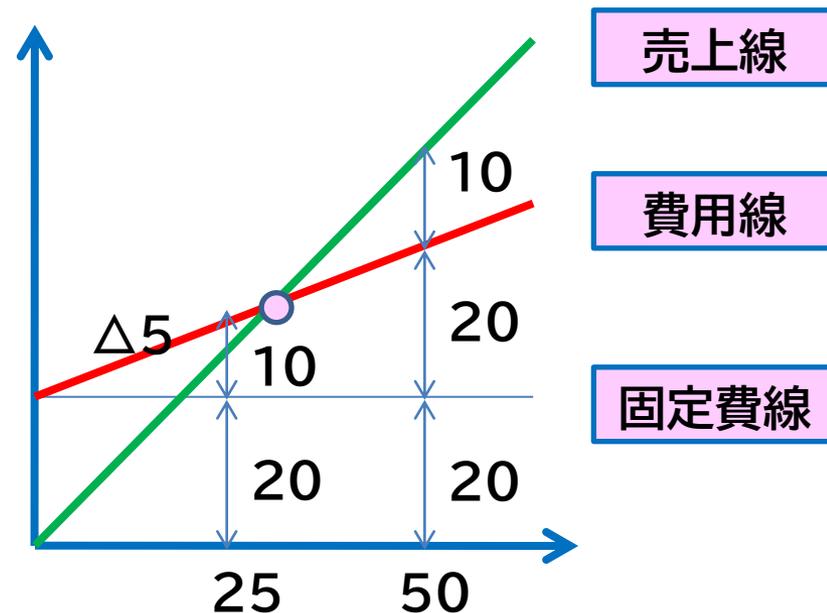
## ● 条件1

- 売上高 = 50万円
- ①原価 = 20万円
- 原価率 =
- 経費20万円
- ②利益は? = \_\_\_\_\_ 円

## ● 条件2

- 売上高 = 25万円になったら...
- ③原価 = \_\_\_\_\_ 円
- 経費20万円
- ④利益は? = \_\_\_\_\_ 円
- ⑤図に表すと?
- ⑥損益分岐点売上高は?  
= \_\_\_\_\_ 円

売上 500,000		原価 200,000	
		個 2,500	単価 80
個数 2,500	単価 200	経費 200,000	
		利益 100,000	



# 1. BEP分析

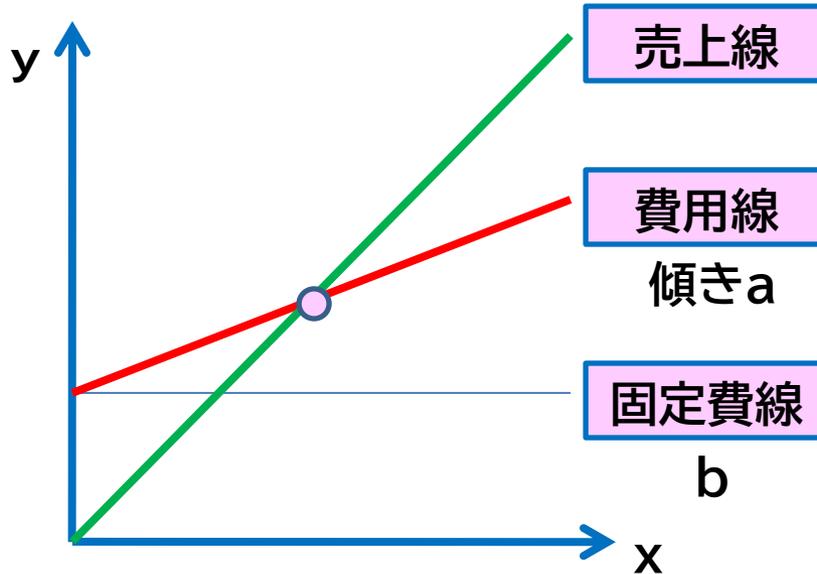
- 損益分岐点売上高 = 生産活動収支が“0”になる売上高

売上 500,000		原価 200,000	
		個 2,500	単価 80
個数 2,500	単価 200	経費 200,000	
		利益 100,000	

≡ 変動費

≡ 固定費

経費を「変動費」(売上に連動)と「固定費」(それ以外)に分ける  
→簡易版では  
・原価 = 変動費  
・経費 = 固定費と設定



- 損益分岐点売上高(x)を求める式を考える

# 1. BEP分析

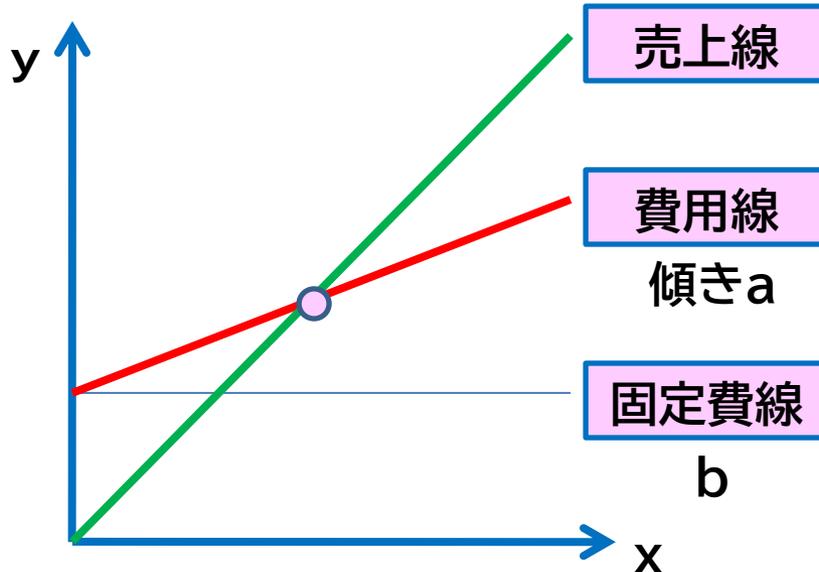
- 損益分岐点売上高 = 生産活動収支が“0”になる売上高

売上 500,000		原価 200,000	
		個 2,500	単価 80
個数 2,500	単価 200	経費 200,000	
		利益 100,000	

≡ 変動費

≡ 固定費

経費を「変動費」(売上に連動)と「固定費」(それ以外)に分ける  
→簡易版では  
・原価 = 変動費  
・経費 = 固定費と設定



- 損益分岐点売上高(x)を求める式を考える

緑:  $y=x$  ... ①

赤:  $y=ax+b$  ... ②

①、②の直線の交わる交点xを、aとbを用いて表せ

②に①を代入

$$x = ax + b$$

$$x - ax = b$$

$$x(1-a) = b$$

$$x = b / (1-a)$$

# 1. BEP分析

- 損益分岐点売上高 = 生産活動収支が“0”になる売上高

- 損益分岐点売上高(x)を求め  
る式を考える

緑:  $y=x$  ... ①

赤:  $y=ax+b$  ... ②

①、②の直線の交わる交点xを、aとbを用いて表せ

②に①を代入

$$x = ax + b$$

$$x - ax = b$$

$$x(1-a) = b$$

$$x = b / (1-a)$$

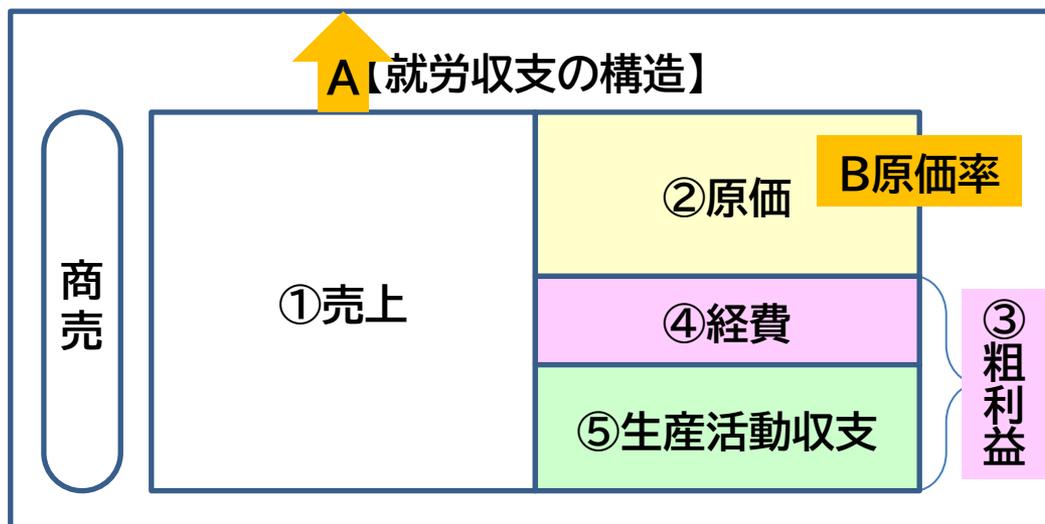
$$\text{BEP} = \frac{b}{1-a} = \frac{\text{経費}}{1-\text{原価率}}$$

就労継続支援A型の場合  
→利用者に賃金を払う！

$$\text{BEP} = \frac{b}{1-a} = \frac{\text{経費} + \text{賃金合計}}{1-\text{原価率}}$$

## 【例題】損益分岐シミュレーション

- 生産活動収支 = 目標賃金 × 利用者人数 が必要に



【例題】次のBEP(損益分岐点売上高)を求めよ。

- ① 目標賃金10万円、利用者6人、原価率40%、経費20万円
- ② 目標賃金10万円、利用者6人、原価率30%、経費20万円(原価率を下げる)
- ③ 目標賃金8万円、利用者6人、原価率40%、経費20万円(目標賃金を下げる)
- ④ 目標賃金8万円、利用者6人、原価率30%、経費20万円(②&③合わせ)

# 個別ワーク

---

- 時間の目安: **5~10分**程度です。
- 動画を一時停止して、作業してみてください。
- 終わられましたら、動画を再開してください。

## 【例題】損益分岐シミュレーション

【例題】次のBEP(損益分岐点売上高)を求めよ。

- ① 目標賃金10万円、利用者6人、原価率40%、経費20万円  
 $(20万円 + 10万円 \times 6人) \div (1 - 40\%) = 80万円 \div 0.6 = 133万円$
- ② 目標賃金10万円、利用者6人、原価率30%、経費20万円(原価率を下げる)  
 $(20万円 + 10万円 \times 6人) \div (1 - 30\%) = 80万円 \div 0.7 = 114万円$
- ③ 目標賃金8万円、利用者6人、原価率40%、経費20万円(目標賃金を下げる)  
 $(20万円 + 8万円 \times 6人) \div (1 - 40\%) = 68万円 \div 0.6 = 113万円$
- ④ 目標賃金8万円、利用者6人、原価率30%、経費20万円(②&③合わせ)  
 $(20万円 + 8万円 \times 6人) \div (1 - 30\%) = 68万円 \div 0.7 = 97万円$

## 【例題】損益分岐シミュレーション

【例題】次のBEP(損益分岐点売上高)を求めよ。

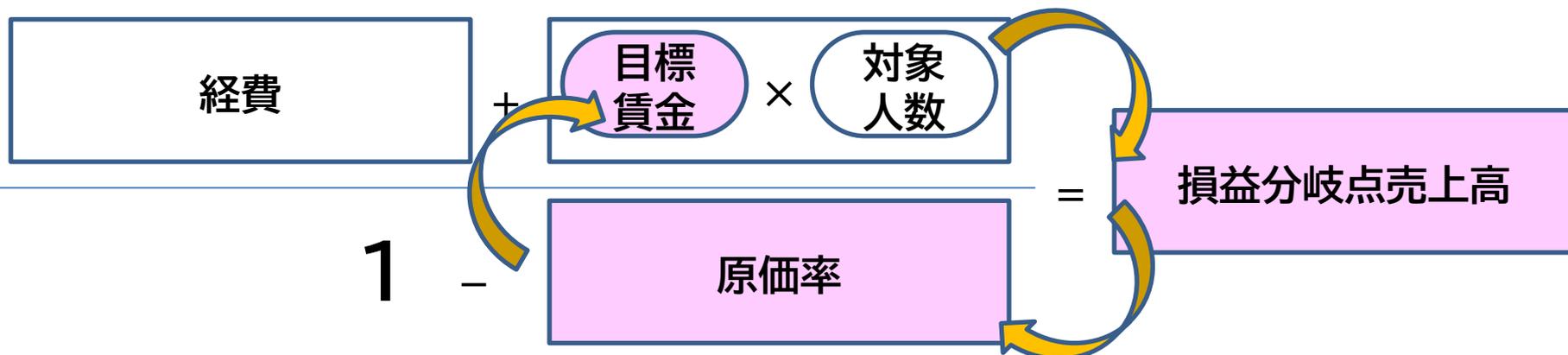
- ① 目標貸金10万円、利用者6人、原価率40%、経費20万円  
 $(20万円 - 10万円 \times 6人) \div (1 - 40\%) = 80万円 \div 0.6 = 133万円$
- ② 目標貸金10万円、利用者6人、原価率30%、経費20万円(原価率を下げる)  
 $(20万円 - 10万円 \times 6人) \div (1 - 30\%) = 80万円 \div 0.7 = 114万円$
- ③ 目標貸金8万円、利用者6人、原価率40%、経費20万円(目標貸金を下げる)  
 $(20万円 - 8万円 \times 6人) \div (1 - 40\%) = 68万円 \div 0.6 = 113万円$
- ④ 目標貸金8万円、利用者6人、原価率30%、経費20万円(②&③合わせ)  
 $(20万円 - 8万円 \times 6人) \div (1 - 30\%) = 68万円 \div 0.7 = 97万円$

## 2. 目標数値の最適化

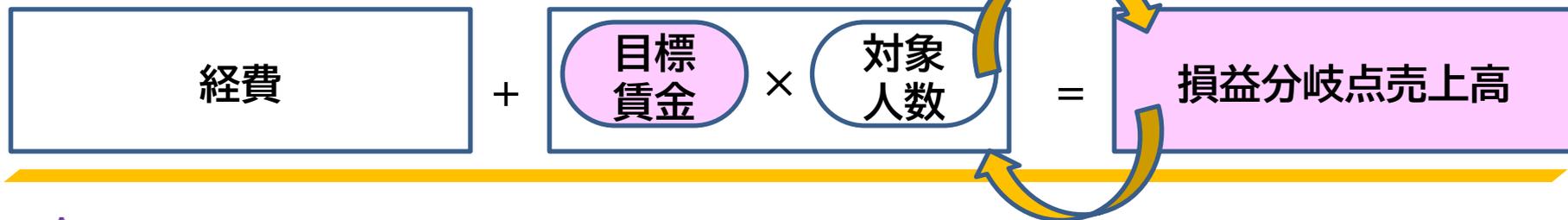
- 3つの目標数値の最適化を図る ※請負は①②のみ

- ① 目標賃金×対象人数
- ② 目標売上
- ③ 目標原価率

<自主事業>



<請負事業>

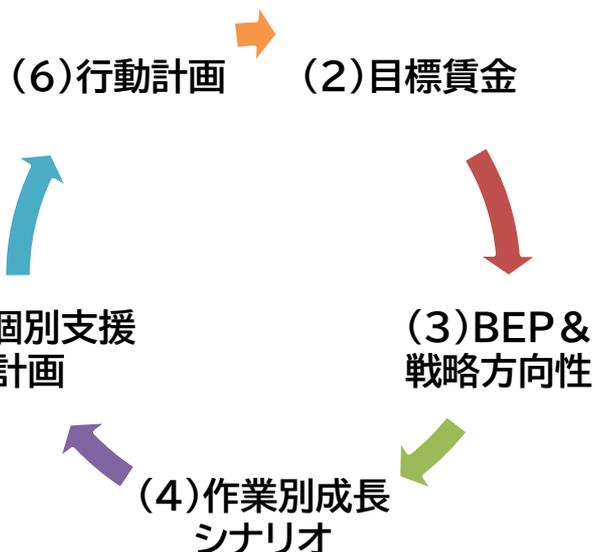


### (3)業務別戦略方向性(既存／新規)の決定

- 理想工賃時・目標工賃時のBEP(損益分岐点売上高)を算出
- 作業別の戦略方向性の検討

### 【設計書(3)】

(3)BEP&戦略方向性 理想(3年後)							事業所名: A型事業所アウトサイド
	合計	作業1 バン	作業2 タオル折	作業3 農作業	作業4	作業5	備考
想定利用者数	20	4	8	8			
現支払賃金総額	1,656,000	360,000	668,000	628,000			
(平均賃金)	82,800	90,000	83,500	78,500			
【理想賃金】							
理想賃金総額	1,656,000	360,000	668,000	628,000			
(平均賃金)	82,800	90,000	83,500	78,500			
目標原価率		35%	0%	15%			
経費	324,000	210,000	57,000	57,000			
損益分岐点売上高	2,407,805	876,923	725,000	805,882			
現売上高	2,390,000	1,200,000	560,000	630,000			
今の何倍?	1.01	0.73	1.29	1.28			1.3倍以上 →要戦略変更
戦略方向性	<注力度> 1. 請負(新規) 2. 農作業 3. タオル折  <工賃規程> ・日給制導入 ・時給単価上昇	②原価管理 →原価率を35% に  ④商品開発 →客単価up	①単価交渉  ⑥新規事業 →新作業営業	⑤顧客開拓 →JA以外の直販 ルート開発			<自主> ①価格up ②原価管理 ③生産性向上 ④商品開発 ⑤顧客開拓 ⑥新規事業 ⑦絞込・撤退  <請負> ①単価交渉 ③生産性向上 ⑥新規事業 ⑦絞込・撤退



## 【WS】振り返り

- 一番印象に残っていることは？

- 今から何に取り組めますか？